

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

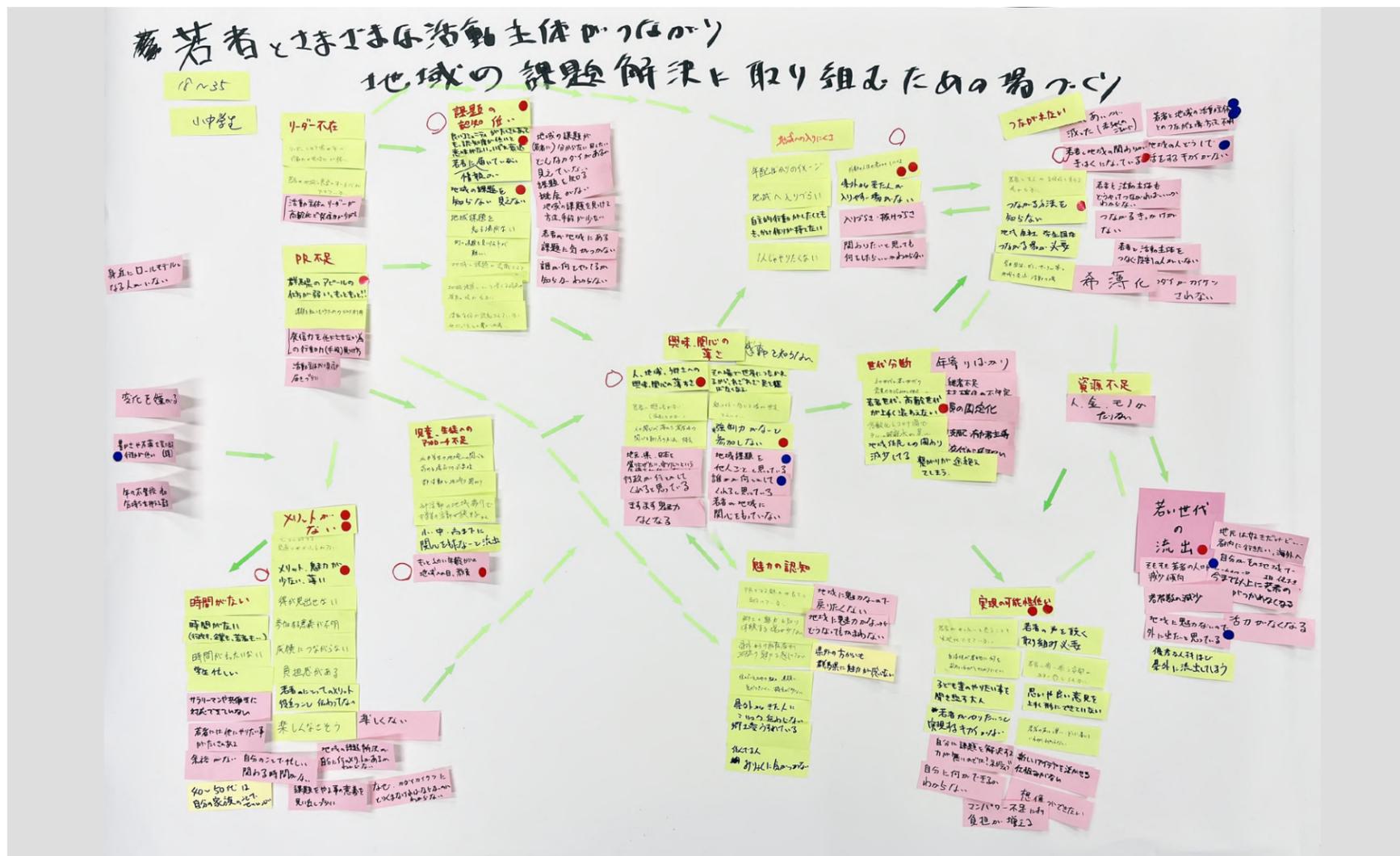
若者とさまざまな活動主体がつながり、地域の課題解決に取り組むための場づくり

自治体名

県

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 地域の魅力を知らない

地域の魅力を知らない子どもから若者が幅広い世代と共に地域づくり活動に主体的に取り組むことで、地域の人と郷土を愛し、何かしたくなるために、何が可能か？

2 県外の人が入りにくい

群馬の外から群馬に住む・住みたい若者が魅力ある自然を活かした体験を通じて、群馬の人や土地について知り、好きになるために、何が可能か？

3 地域課題に対する関心が薄い

地域に課題があることすら知らない人たちが、はじめて地域の課題を認識することによって、地域に関心を持つために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>ガチャ旅</p>	<p>地域の困りごとを掲載したホームページ等のURLのQRコードを入れたガチャガチャを、観光地や駅などに設置。旅行者は旅先でガチャガチャを回してQRコードから困りごとにアクセス。課題解決のお手伝いしたら、滞在中に使えるクーポン券などのサービスを受けられる仕組みを作る。地域の課題を地域外と共有し、課題解決を目指す。</p>	<p>まちの みらいがっこう</p> <p>小学生・中学生を対象に、小・中学校の体育館で、地域を知り、地域の未来を語る合宿を行う。運営は高校生や大学生が行い、地域の大人がサポートをする。グループで町に出て、食事や買い物をし、気づきをマップに落とし込む。地元食材で料理をするなどの活動をした後、地域の人と一緒に気づきを共有し、まちの未来を語る。</p>
<p>つながるサービス「やるべ」</p>	<p>ボランティアやつながりを生み出す場や発信する場の提供を、行政・民間団体・企業が行い、したい事、やりたい事ができた時、必要としている人と簡単につながれるサービスを構築する。</p>	